

医療保険・がん保険・生命保険の保険料

●医療保険・がん保険の保険料が値上げに？

医療保険やがん保険の保険料値上げが検討されています。その理由は、日本人の寿命が延び続けているからです。長生きすると、生活費のほかに医療などにかかるお金を多く見積もる必要があります。新聞や雑誌などで「長生きのリスク」として取り上げられるようになりました。この「長生きのリスク」に備えるには保険の活用が合理的というわけで、医療保険やがん保険への加入ニーズが伸びているのです。

ところが、このことを、保険会社の立場になって考えてみるとどうでしょうか。たとえば、「人生 80 年」という前提で計算した入院率や入院日数を元につくった医療保険をそのまま「人生 100 年」世代に販売し続けると、20 年分の給付金の支払いが増えることになるので保険会社の採算が合わなくなってしまいます。そのため、値上げをせざるを得ない状況にあるわけです。このように、より長生きすることによって値上げになる可能性のある保険には、医療保険やがん保険があります。

さらに来年(2019 年)10 月には、消費税率が 10%に引き上げられる予定です。保険料には消費税がかかりませんが、保険証券や各種経費には消費税がかかるため、やはり消費税引き上げとともに保険料を値上げせざるをえないというのが保険会社の立場です。保険料が値上げになるタイミングは、具体的には 2018 年 4 月以降と予想されています。

しかしながら、医療保険やがん保険の保険料は、それぞれの会社の戦略によって決められることが多いため、同じような保障内容の保険でも、年齢や男女差による保険料設定は、保険会社ごとに大きく異なっているのが現状です。さらに、保険料を引き上げたことで新規加入者が減ってしまったら、元も子もありません。ですから、大きなトレンドとしては保険料値上げであっても、会社ごとに、また加入者の年齢や男女の違いによって、保険料が値上がりするケースもあれば、逆に値下がりするケースもあるのです。

新規加入するときや、加入している保険の見直しをするときには、複数の会社の商品やプランを比べて加入するということが大切です。

●定期保険や収入保障保険は 4 月以降のほうが割安に

さて、長生きをするということは、ある年齢で死亡する確率が下がることを意味しますので、死亡したときの保険金が支払われる保険(生命保険・死亡保険)は、今後、割安になる可能性があります。特に顕著なのが、一定期間の死亡保障をカバーする定期保険や収入保障保険です。

同じ死亡保障を確保するなら、保険料が改定される 2018 年 4 月以降の方が、割安な保険料で加入できる可能性があります。新規加入する人だけでなく、これまで契約していた死亡保障の保

険についても、4 月以降の見直しで割安なプランを見つけられるかもしれません。この場合にも、複数の会社の商品やプランを比較検討することが大切です。